治 ゆ 証 明 に つ い て

集団生活の場である保育所では、子どもがかかりやすい病気としてかぜをはじめいろいろな感染症があります。二次、三次感染などの発生を防ぎ、保育所における健康管理を円滑に進めていくため、下記のことについてご協力をお願いします。

(下記の登所のめやすは原則的な基準で症状によって異なります。治療後の登所については医師と相談してください。)

病 名	登 所 の め や す
麻疹 (はしか)	解熱後 3 日を経過していること
風しん	発しんが消失していること
水痘 (水ぼうそう)	すべての発疹が痂 ^か 痂 ^ひ 化 (かさぶた) していること
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	腫脹が発現してから 5 日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	医師により感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱 (プール熱)	主な症状が消失後 2 日を経過していること
流行性角結膜炎	結膜炎の症状が消失していること
百日ぜき	特有の咳が消失していること又は適正な抗生剤による 5 日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症 (O-157など)	医師による感染の恐れがないと認められていること

- * 登所させる場合は、かかりつけの主治医に下記の証明書をもって保育所に提出してください。
- * ただし、医師が感染症予防上支障なしと認めた時は、この限りではありません。

----- 切 り 取 り -----

治 ゆ 証 明 書

保育園

(入所児童氏名)

上記の者は 病で 月 日まで療養中であったが
主要症状が消退し伝染の恐れがないものと認めます。

年 月 日

病院名

主治医